

I 教育目標	
<p>これからのグローバル社会に向けて人と社会、自然環境等と共生しながらたくましく生きるための資質・能力を育成するために、次の目標を定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深く考える人 (賢く)</li> <li>○ 思いやりのある人 (優しく)</li> <li>○ 責任を重んじる人 (潔く)</li> <li>○ 礼儀正しく健康な人 (逞しく)</li> </ul>	

II 経営方針	
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が生き生きと、何事にも前向きに取り組める学校</li> <li>○生徒一人一人が大切にされる魅力ある学校</li> <li>○生徒と教師が信頼関係を基盤に一体となって進む、活力のある学校</li> <li>○保護者から信頼され、地域と協働して生徒を育てる学校</li> </ul>
目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの課題に繰り返し挑戦する生徒</li> <li>○自他の人権を尊重し、人としての思いやりや道徳心、規範意識のある生徒</li> <li>○何事にも前向きに意欲的に取り組み、目標達成に向けて最後まで努力し、やり切る生徒</li> <li>○主体的に学び、考え、判断し、行動できる、個性と想像力豊かな生徒</li> <li>○基礎的な体力を身に付け、自分の身体を大切にし、心身ともに健康な生徒</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育公務員としての自覚をもち、責任をもって職務の遂行に努める教師</li> <li>○生徒のことを第一に考え、生徒から学ぶ謙虚さをもつ教師</li> <li>○常に自分の指導を省みて、生徒の資質・能力を伸ばすよう工夫・改善を怠らない教師</li> <li>○学校経営への参画意識をもって職務に専念する教師</li> <li>○自ら研修に励み、自己の資質・能力の向上に努める教師</li> <li>○学校組織の一員としてチームワークを大切にし、教育目標の達成に向けて一致協力する教師</li> </ul>
経営理念	<p>【子どもの幸福・成長を第一に考え、実践する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員が学校経営への参画意識をもち、「学力の向上」「学びの質」「心身の成長」「安全・安心な学校」を生徒・保護者に保証し、生徒一人一人に「確かな学力」と「豊かな人間性」を身に付けさせ、「生きる力」を育成する教育を、三年間を見通した計画のもとに推進する。</li> <li>○各教師が積極的に授業研究に取り組むとともに、教師が互いに理解し合う、学び合い、切磋琢磨する関係をつくり、教師自らが教師としての使命感をもって職務に励む。そして、生徒の学習意欲を喚起し、自ら考え、判断し、表現し、行動できる生徒の育成、自他の生き方を尊重し責任を果たすことのできる生徒の育成を目指す。</li> <li>○中学校の三年間を人生の基礎づくりと考えた進路指導を推進する。また、中学校卒業後の進路目標の実現に向けて十分な話し合いをもち、生徒がしっかりと自分で自分の進路選択・決定ができるように支援する。</li> <li>○生徒一人一人を大切にし、地域・保護者と学校との協働体制を構築し、信頼される学校をつくる。</li> </ul>

### Ⅲ 経営目標

重点領域 1		確かな学力の定着・向上
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着・向上</li> <li>・学習指導要領に即した指導方法の工夫・改善の実践を通じた、授業の質と指導力の向上</li> <li>・3年間を見通した学習指導・進路指導・生活指導（授業規律）の推進</li> <li>・こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）の確実な実施</li> </ul>	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）」「少人数・TT指導」等の実践による授業規律の確立と基礎学力・確かな学力の定着・向上</li> <li>・学習指導要領の趣旨を踏まえた各教科の基礎・基本の定着と向上</li> <li>・ICT機器を効果的に活用した生徒一人一人の個に応じた指導の実践</li> <li>・生徒・保護者の希望に沿った卒業後の進路先の保証</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「『分かる授業』を実践するための教材研究及び授業改善を計画的・継続的に行っている」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「授業は工夫がなされていて、受けていて楽しい」と回答する生徒取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
2	「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）の達成に向けて授業改善を図る（国語、数学、英語、保健体育）」という教員の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。	「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）を意識して授業に参加している」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を80%以上にする。
3	「こうとう学び方スタンダード（ネクストステージ）をもとに、授業規律を重視し、授業中の私語や問題行動に対して的確に指導している」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「こうとう学び方スタンダード（ネクストステージ）を理解し、授業中は私語をせず、周りに迷惑を掛けることなく真面目に授業に集中し、参加している」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。
4	「オンライン教材を活用し、一人一人の理解度を把握した授業展開に努め、生徒個々に達成感を味わわせる指導の工夫・改善をしている」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「学習者用端末を積極的に活用し、主体的に学習に取り組み、達成感・成就感を得た」という生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
5	「学習者用端末を活用し、自分の考えを発表したり、話し合いのまとめをICT機器を活用して行ったりするなど、多様な発表方法、個に応じた学習に工夫を凝らし、『主体的、対話的な深い学び』の実現に努めている」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「学習者用端末を活用し、自分の考えや話し合いのまとめを発表したり、発表方法に工夫を凝らしたりするなど、積極的に端末を活用して授業に参加している」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
6	「全学年朝読書を実施し、読書の啓発活動を推進するとともに、図書室を利用する生徒の拡充を図る」という教員の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。	「日常の生活で読書をする習慣が身に付いた」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を80%以上にする。
7	「各種検定試験に積極的に受検を勧め、裏付けのある自信の育成に努める」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「各種検定試験に積極的に挑戦した」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を65%以上にする。

重点領域2		豊かな心の育成と人権意識の向上
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の向上と思いやりの心の育成</li> <li>・いじめや暴力等、問題行動を許さない集団意識の構築</li> <li>・自他の生命を尊重し、社会性や規範意識、正義感を育む心の育成</li> <li>・何事に対しても「脳が汗をかくくらいよく考え、最後まで諦めずに努力し、やり切る姿勢・態度」の育成</li> </ul>	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> <li>・道徳の授業や人権週間等を生かした創意工夫ある取組の具現化</li> <li>・行事や諸活動等を通して得た生徒の変容を日常生活に生かす指導の工夫</li> <li>・生徒会活動や部活動等を通じた良好な人間関係の形成</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「道徳の授業や総合的な学習の時間、行事等を通して、命の大切さや思いやりの心、規則遵守、社会貢献の心等を育て、道徳的心情を高める指導を組織的、計画的、継続的に実践している」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「社会のルールやマナーを守るとともに、命を大切にし、思いやりをもって人と接している」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
2	「何事に対しても、生徒が目標をもって、よく考え、最後まで努力してやり切る姿勢・態度の育成を図る」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「何事に対しても、よく考え、目標をもって最後まで努力してやり切っている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
3	「生徒が自ら身だしなみを整える習慣が身に付くように、日頃より丁寧に身だしなみについて指導している」という教員の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。	「自ら身だしなみに注意し、整えるようにしている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
4	「日常の挨拶をすべての教員が元気よく率先垂範するとともに、朝の挨拶や授業の始めと終わりの挨拶は教員が先がけて行うことで生徒の模範となり、挨拶の指導を行う」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「朝のあいさつや授業の始まりと終わりのあいさつでは、元気よく声を出してあいさつしている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。
5	「朝や教室移動での遅刻者に対する指導の徹底やチャイム着席の励行等を通して、時間を守る意識を定着させる」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「登下校時刻やチャイム着席等の時間を守っている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
6	「全教育活動で言語活動を充実させ、生徒の思考力や判断力、表現力を育成するため、教員が丁寧な言葉遣いを意識し、話す速さ、明瞭な発音・発声、主述の整った話し方に気を配る」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「日頃から言葉遣いに注意し、丁寧に話すように心掛けている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
7	「日常的に生徒観察を行う、また自ら生徒の中に入ってコミュニケーションを取って生徒理解を深めるとともに、教員間で組織的に生徒の状況把握を行い、諸問題の早期発見、早期対応に努める」という教員の取組状況評価の肯定率を100%にする。	「先生は生徒のことをよく考え、相談しやすい雰囲気をつくっている。また、親身になって相談にのってくれる」と回答する生徒取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
8	「人権意識の向上を図るために、教育活動全体をとして、生徒が人権尊重の理念を正しく理解する指導を工夫して行う」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「自他を大切にし、差別意識をもたず、人が嫌がることをしない、思いやりの心をもって人と接することの大切さを理解し、行動できる」と回答する生徒取組状況評価の肯定率を90%以上にする。
9	人権教育の観点から、学級活動や生徒会活動、部活動等を通して、良好な人間関係を築こうとする態度や自己実現を図ろうとする態度の育成を図る」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「学級活動や生徒会活動、部活動等を通して、良好な人間関係を築こうとする態度や自分で決めたことを最後までやり遂げようとする態度が身に付いてきた」と回答する生徒取組状況評価の肯定率を90%以上にする。

重点領域3		特別活動の活性化・委員会活動や部活動の充実
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体の特別活動の計画・実践</li> <li>・生徒の学校への帰属意識を高める教育活動の推進</li> </ul>	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体による行事の運営</li> <li>・生徒会活動・学級活動等の活性化</li> <li>・多様な部活動の展開</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「生徒に活躍させる機会を設定し、『みんなが輝やける』ように適切な指導を行った」という教員の取組状況評価の肯定率を95%にする。	「自分が活躍した体験が1回以上ある」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。
2	「行事や生徒会活動、学級活動、部活動等で、生徒に役割を与えて自覚・責任を促す等、生徒の活動を生かした生徒指導を行うとともに、それによる生徒の変容を日常生活に生かす指導を行った」という教員の取組状況評価の肯定率を95%にする。	「行事や生徒会・係活動、部活動等に前向きに取り組み、最後まで責任をもって自分の役割を果たし、達成感・成就感を得た」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。
3	「部活動を通して、向上心や良好な人間関係を構築する姿勢・態度の育成に努めた」という教員の取組状況評価の肯定率を95%にする。	「楽しく部活動ができ、忙しくても部活動が励みとなり、自分の人間形成に役立っている」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。

重点領域4		家庭・地域と連携した健全育成
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域と一体となった教育活動の展開</li> <li>・社会活動・奉仕活動の充実</li> </ul>	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの定期的な情報発信</li> <li>・地域行事への積極的な参加</li> <li>・オンラインを活用した家庭学習の習慣化</li> <li>・地域人材の効果的な活用</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「学校ホームページの内容を充実させるとともに、学校だよりや学年だより等の各種通信を定期的に発行した」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「学校だよりや学年だより等の各種通信をしっかりと読んでいる」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を80%以上にする。
2	「必要に応じて、生徒の課題等をオンラインで実施し、家庭と連携した学習を展開した」という教員の取組状況評価の肯定率を85%以上にする。	「オンラインによる課題学習に対し、適切に学習に努めた」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を90%にする。
3	「ボランティア活動や地域との連携行事等、生徒の自立や社会参加に向けた取組の支援に努めている」という教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	「職場体験やボランティア活動、保育体験、地域活動等、社会参加に向けた活動に積極的に参加している」と回答する生徒の取組状況評価の肯定率を70%にする。
4	「地域学校協働本部の活動を活性化させ、PTAや『おやじの会』の協力を得ながら、生徒の健全育成を図っている」という教員の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。	「地域行事や地元の祭り等への参加を通して、自分たちが住み、育ってきた地域を意識する気持ちが高まってきた」という生徒の取組状況評価の肯定率を60%以上にする。